助け合いシステムの拡充による生産力の向上と担い手の定着

～地域力ＵＰで、家族の笑顔、仲間の笑顔がいっぱい あふれるふる里をつくろう！～

活動年次：令和３年～４年

十勝農業改良普及センター十勝南部支所

1　課題設定の背景 **

対象：幕別町忠類新生・豊成地区７戸

Step 1　ＴＭＲセンターと構成員の共存共栄のため　TMR価格と品質安定で乳牛の健康増進

- サイレージ用とうもろこしの栽培技術改善
- 飼料価格を意識した飼料給与設計
- 農場内の課題解決に向けた取組支援

Step 2　労働力確保のため　長い労働時間を解消するために

- 新たな労働力補完システムの構築
- 雇用を入れるためには農業所得の確保が必須

Step 3　地域の維持のため　新規参入者受け入れ、定着の取り組み

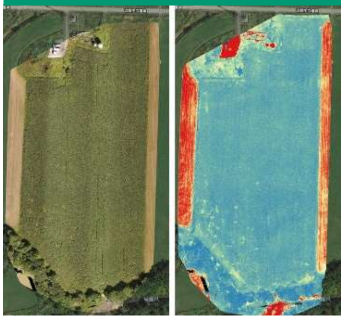
本年までは Step 1 の活動を実施

2　活動の経過 **

1　有機質肥料を活用したサイレージ用とうもろこしの生産

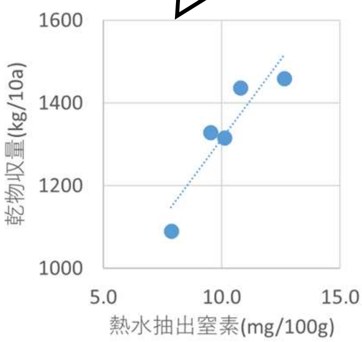
○収量が低く、地力の低いほ場には堆肥など有機質肥料を積極的に施用

ドローンからNDVI値を評価



腐植マップ作成

熱水抽出窒素の高いほ場は収量性が高い



農業者へNDVI値、土壌分析、収量性を示す【動機付け】

2　サイレージ用とうもろこしの品種選定と適切な収穫時期の再考

○地域に合う品種選定

【試験ほの設置目的】

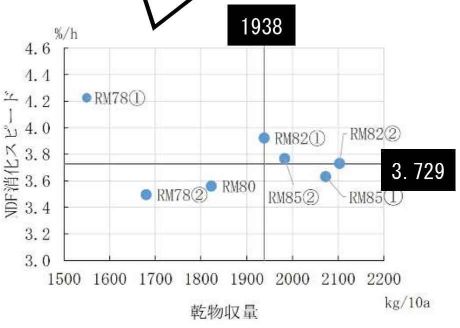
- 乾物収量が多い
- 子実割合が高い
- 耐倒伏性に優れる
- 収穫時の繊維含量が低い
- 繊維の消化スピードが速い

併せて

- 複数品種選定による気象変動リスクの分散

試験ほで現地研修会を開催

品種による繊維消化スピードと乾物収量の違いを確認（■内はR4平均値）



○適切な収穫時期の再考

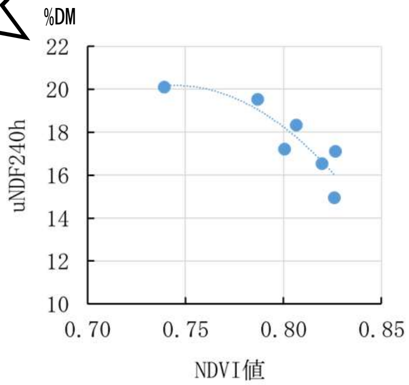
【適切な収穫時期とは？】

黄熟中期以降で
- 繊維含量が低い
- でん粉含量が高い
- 繊維消化スピードが速い

ドローンによる空撮

ＮＤＶＩ値を解析

NDVI値が高いと消化できない繊維（uNDF）の含量が低い



3　飼料価格超高騰・生産抑制下における取組

○粗濃比を上げたTMR給与技術支援

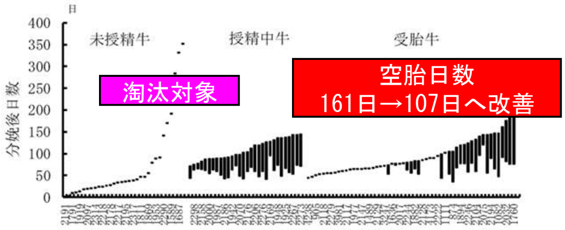
調査項目
- 乾物摂取量
- 施設構造、飼養管理、牛群行動
- RFS、BCS、飛節、蹄冠の腫れ

普及センター内で対策を協議

改善提案内容
- 給餌タイミング、給餌割合変更
- エサ寄せタイミング変更
- TMR増給（少量多回採食）
- 飼槽構造（ネックレール高さ）
- 炭酸Ｃａ、重曹の自由採食
- 牛床マットの交換
- サイレージ水分変化への対応

○繁殖成績向上に向けた技術支援

支援内容
- 繁殖状況の聞き取り
- 胎盤停滞発症牛のリストアップ
- 実空胎グラフの作成と未受精牛のリストアップ
  →繁殖状況の見える化推進



3　活動の成果　***

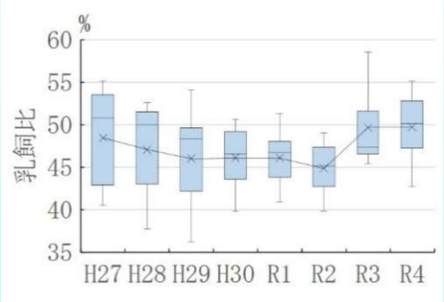
【１　有機質肥料の活用】
- 農業者ごとの年間ふん尿排出量が明らかに。
- 次年度、土壌肥沃度の低いほ場で試験実施が決定。
- 牧草地でも化学肥料をふん尿に置き換える動きが。

【２　サイレージ用　とうもろこしの取組】
- 繊維の消化性を考慮した品種の選定を提案。
- 自給飼料主体のＴＭＲ供給のため、とうもろこしの重要性を再認識。

【３　技術支援の成果】

○地域経済の変化（前年比）
- 農業粗生産額：１０３％
- 生乳生産量：２％増
- 手取り乳代：１％増
- 乳飼比　　：前年並み
- 所得　　　：個体販売価格の下落により低下
- 所得率　　：15.3%→14.4%

〔乳飼比の推移〕



（TMRセンター調べ）

今後の対応に向けた「礎（いしずえ）」を農業者・ＴＭＲセンター・関係機関と共有

自給飼料生産と飼養管理から牛群の健康・生産を再考する絶好の機会となった！

4　今後の活動　***

○乳飼比を低下させる取組みと乾物摂取量向上の取組みを継続支援

乳成分の高位安定と生産抑制下でも所得を確保できる経営を目指す